

五木村区長会長 石田 和男

お願いと質問をさせていただきます。

（お願い）

資料によりますと、流水型ダム事業完成年度が令和17年度となっており、まだまだ長い年月を要します。令和2年7月の豪雨により被災された地域の復興も進む一方で、地域集落が消滅するのではないかと危機感を持たれている地域もあると聞いております。今後、ダムの完成まで大きな災害がないとも言えません。地域の安心安全が第一でございますので、今、出来ることを、スピード感を持って対応いただき、地域の方々が1日でも早く、安心して暮らせる対策をとられるようお願いいたします。

（質問）

ダム湖周辺の環境等について

- (1) 頭地水没地区に広場、宿泊施設等の施設があります。湛水試験時にはすべての施設が浸水するため、移転をと思いますが、湛水試験終了後に堆積した土砂礫、ゴミ、流木、ヘドロ等は維持管理の中で撤去できるのか、また、5年に一度浸水した場合も撤去できるか。
- (2) その時の雨量によって河川全体に土砂が堆積し、河床が高くなり、貯水範囲が広がる危険性はないのか。
- (3) 穴あきダムのため、減水のスピードが速まり、河川兩岸の山腹が崩壊することも考えます。土砂堆積、水質の汚濁等に影響はないのでしょうか。それとも調整口で放水量を調整するのか。
- (4) 豪雨により相当多くの流木、ゴミ、土砂の堆積があると思います。貯水ダムには貯水池の水面に流木止めがありますが、穴あきダムはないと思いますので、放水口が流木、ゴミ、土砂等により閉塞することはないのか。

以上についてお尋ねいたします。